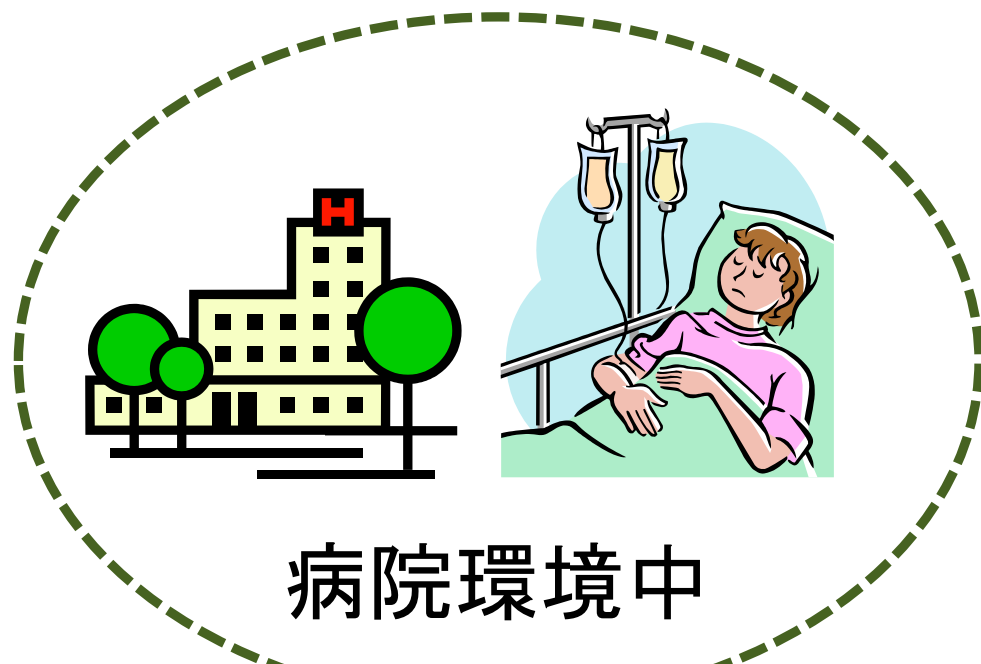


誰でも出来る！ 病院・施設での清掃のコツ



一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院
感染管理認定看護師 溝口 裕美

病院清掃



病院環境中

多種多様な病原体が存在

環境消毒

一次的に減少してもすぐに戻る

病原体

湿潤環境・複雑な環境で生存

埃や水垢がリザーバー

日常の清掃が大切！

- 床や壁からの感染伝播は稀
- 院内伝播の感染源
: 患者周囲の環境

環境表面の分類

分類			例	処理
医療機器表面			モニター、ポンプ	ドレープなどでカバー 清拭清掃
ハウスキーピング表面	手指の高頻度接触表面		ドアノブ、ベッド柵 床灯台、テーブル、 ベッドリモコン、病室 のトイレ周辺等	1日1回以上 清拭清掃or低レベル消毒
	手指の 低頻度接触表面	水平面	床、窓の敷居等	定期的清掃 汚染時、患者退院時
		垂直面	壁、ブラインド、 カーテン	汚染時のみ清掃・清拭

日常清掃の基本

① 奥から手前

ベッド

ベッド

② 上から下



③ 一方向で一部重複

病室入り口

床の清掃手順

1. 乾式清掃

- 埃を舞い上げないようにする
- 静電気を利用した乾式モップを使用する

2. 湿式清掃

- 1モップ2バケツ法
バケツをすすぎ用と清拭用（洗剤）にわけ
- オフロケーション方式
使用済みモップを取り外し、新しいモップを清拭用（洗剤）
バケツに浸して清掃する
→清潔なモップを使用できる。複数のモップが必要となる。

使用後のモップ類



**高頻度接触面は
どことどこ？**

**冷蔵庫の中は
誰が担当？**

多職種で意識統一は難しい

頻度・清拭する場所・担当者を明確にする

防護具・手指衛生のタイミング・使用する清掃道具

作業手順書

清掃しやすい環境作り

- 床に直接置かない
 - * 必要時はキャスタをつけて移動しやすくする
- 必要なものは最小限
- 整理整頓



清掃しやすい環境作り



整理整頓され
ているか！
定期的に確認
しましょう



清掃しやすい材質の選択



血液・体液等による汚染時

(医療施設における環境管理のためのCDCガイドラインより)

- こぼれた血液あるいは他の潜在的に感染可能な物質が流出した場合は、**すみやかに清掃し、汚染除去**を行うこと
(カテゴリー I B)
- 血液あるいは体液のこぼれた場所を掃除した後、1:100(500～615ppm濃度の次亜塩素ナトリウム製剤で表面を消毒すること
(カテゴリー I B)

環境中でのB型肝炎ウイルス（HBV）

- 室温の環境表面の乾燥血液の中で
少なくとも1週間以上生き続ける



HBVに感染した医療従事者のほとんどは
針刺しなどの明確な曝露の記憶がない

すみやかに清掃

あなたの施設では、すぐに処理する環境が整ってますか？

清掃しやすい環境作り

➤ 清掃道具の確保：環境クロスの採用

低水準消毒薬

第四級アンモニウム塩・両性界面活性剤



オオサキホームページ
https://www.osakimedical.co.jp/medical/nursing_care/nsc001_003/



サラヤホームページ
<https://med.saraya.com/products/kan-kyoeisei/44156.html>引用



花王ホームページ
<http://www.kao.co.jp/pro/product/detail/3140.html>



ハクゾウホームページ
http://www.hakuzo.com/product/detail/index_n.php?id=407引用

アルコール

+ 第四級
アンモニウム塩



サラヤホームページ
<https://med.saraya.com/products/kan-kyoeisei/51681.html>



オオサキホームページ
https://www.osakimedical.co.jp/medical/nursing_care/nsc001_001/

